

5月の定期演奏会によせて

ロマンスの世界を奏でる演奏会

新名称、長崎OMURA室内合奏団として初の定期演奏会は、当合奏団ならではのプログラミングかと思います。スタートはモーツァルト作曲ディヴェルティメントニ長調K136。これは弦楽器のみでの演奏。Divertimento=喜遊曲

即ち、明るく楽しくコンサートを始めます。次は管楽器の出番です。ドヴォルザークは交響曲「新世界」や弦楽四重奏曲「アメリカ」「弦楽セレナード」などで有名ですが、管楽器のセレナードがあるのです。編成はオーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンにチェロとコントラバスが入ります。指揮者のシェレンベルガー氏は元ベルリンフィルの首席オーボエ奏者。NOCEのメンバーとのアンサンブル、果たしていかに？

後半のブラームスは弦楽六重奏の管弦楽版。何と松原勝也氏の編曲で世界初演です。弦楽六重奏で一躍有名になったのは、1番の2楽章が映画「恋人たち」(1958)のテーマに使われたからでしょうか？お聴きいただくのは第2番ですが。ブラームスと言えばクララ・シューマンとの恋もささやかれた人、しかしこの2番ではアガータという女性とのロマンスが秘められているともいわれています。流れてくる音楽に身をゆだねて、あなたのロマンの世界に遊んでみてはいかがでしょうか？



【モーツァルト】



【ブラームス】

ブラームスは、松原勝也編曲、世界初演!

5月の定期演奏会のプログラムを見ると、W.A.モーツァルト作曲ディヴェルティメントK.136、J.ブラームス弦楽六重奏第2番とあり、今回も弦楽オーケストラ主体と思われるかも知れません。

ディヴェルティメントK.136は二長調の非常に清々しい疾走感を持った曲で、元々メヌエットを含む交響曲を意識していたのでは? とのことでザルツブルグシンフォニーと呼ばれることもあるようです。モーツァルトの演奏は弦楽のみとなりますが、ブラームスの六重奏はなんと、アーティストック・アドヴァイザーの松原勝也さんが管弦楽で演奏出来るよう特別に編曲されたのです。この弦楽六重奏第2番は原曲を聴いていただくとその響きが交響曲の様な豊かな厚みを持っていると感じて頂くことが出来ると思います。

松原さんの編曲はJ.S.バッハ前奏曲とフーガやゴルトベルク変奏曲弦楽五重奏版等で皆様ご存じかと思いますが、単に原曲の音符を振り分けるのではなく、まったく新しいアイデアが詰め込まれています。新しく編曲された曲は一体どんな響きなのか? また、どんな驚きがあるのか私たち団員は非常にドキドキしています。そして皆様にこの新しい響きを楽しんで頂ければと思っています。

私もドキドキしています!



たなべ きよし
田辺 清士 (チェロ)

最初に企画を聞いた時はまさかという思いでした。というのも私がオーボエを勉強し始めた時からシェレンベルガー氏は常に私の憧れのスーパースターだからです。シェレンベルガー氏の魅力は何と云っても甘い音色、そして的確な音楽表現にあると思います。新しい曲を勉強する度に氏のCDを参考に勉強したものです。特に前回、氏が演奏されたモーツァルトのオーボエ協奏曲は、大学時代に「シェレンベルガーと共演だ!」と勝手に脳内共演をしつつ練習していた思い出の曲です。

そして待ちに待ったリハーサル初日。

何も足さない、何も引かない(某ウイスキーのCMのようですが)、余分な物が何もない自然体の音楽が

そこにはありました。そして何より驚かされたのは、超絶に美しいピアニッシモ! オーボエで小さな音を出すのは至難の業ですが、実に楽々と紡ぎ出される音色にうっとり聴き入ってしまいました。

管楽器仲間を氏を質問攻めにしたところ、走り込みをしたり呼吸法を極めたりと、たゆまぬ努力の上にある音楽は成り立っているのだなとわかり感動しました。

あれから4年。また素敵な音楽に出会える事を楽しみにしています。



あのシェレンベルガーと共演!



きりたに みきこ
桐谷 美貴子 (オーボエ)



長崎OMURA室内合奏団15周年を迎えて

長崎OMURA室内合奏団 芸術監督 村嶋寿深子

2003年10月、シーハットおおむら・さくらホールでお披露目コンサートを実施、翌年7月OMURA室内合奏団第1回定期演奏会を迫昭嘉指揮で行った時、今日の活動が見えていたのだろうか? 何故なら、その立ち上げは、財源のないあまりにも無謀なものであった。恐れを顧みず、南串山町、時津町公演に続いて、2005年には「日韓合同交流音楽会」と称して、大邱市と松浦市で公演した。これは内情を明かせば、国際交流基金を運営の財源として得るための事業であったとも言える。しかし、同じような体制の大邱市のオケとの公演は楽しかった。

現在、アーティストック・アドヴァイザーを務める松原勝也氏の最初の登場は2005年である。したがって彼も今日まで10年余のお付き合いとなる。もっとも、私との出会いは、1987年、東京のカザルスホールのオープニングであったので、20余年の知己といえようか。そのカザルスホールで10数年の仕事のお陰で、アントニオ・メネセスや今井信子、など世界的に活躍する人たちにゲストとして参加してもらえたのであるが。

もちろん若い演奏家たちとの公演も重ねてきた。クラシックだけでなく「思い出のブロードウェイ・ミュージカル名曲コンサート」も行った。2010年から定期的に長崎公演を開始。また、(シーハットおおむら制作の)ミュージカル「OMURAグラフィティ」で初共演。その後のミュージカル公演は、OMURA室内合奏団の生演奏で実施されてきており、来る7月21日長崎ブリックホールで「赤い花の記憶 天主堂物語」が再々演される。

2014年には元ベルリンフィルの首席オーボエ奏者シェレンベルガーがゲストだった。翌2015年は活動の場が広がり、秋山和慶の指揮での定期公演に引き続き、東京・紀尾井ホールでの公演、オペラ「いのち」の新国立劇場公演、飯塚や大野城での公演などが重ねられていった。2018年15周年を期に名称を「長崎OMURA室内合奏団」と改めた。この新名称をNagasaki Omura Chamber Ensembleの頭文字N O C Eを「ノーチェ」と発音して親しんでいただくと共に、更なる合奏団活動の発展を願っている。



大村から世界へ飛翔!

～長崎OMURA室内合奏団の15年の歩み～



【お披露目コンサート】



【第1回定期演奏会
村嶋寿深子芸術監督と迫昭嘉氏】



【日韓合同交流音楽会
大邱市にて】



【アントニオ・メネセス氏】



【ミュージックキャンプの参加者】



【地域創造大賞受賞祝賀会】

主な出来事

- 2003(平成15)年**
10月 「OMURA室内合奏団お披露目コンサート」
- 2004(平成16)年**
7月 第1回定期演奏会開催(指揮:迫昭嘉)
- 2005(平成17)年**
6月 松原勝也を迎えて第2回定期演奏会開催
10月 日韓合同交流音楽会(大邱市)開催
- 2008(平成20)年**
5月 アントニオ・メネセスを迎えて第6回定期演奏会開催
- 2009(平成21)年**
8月 ミュージックフェスタ初開催
10月 ミュージカル名曲コンサート開催(指揮:山口秀也)
- 2010(平成22)年**
2月 市民ミュージカル『OMURAグラフィティ』演奏
11月 第1回長崎定期演奏会
- 2011(平成23)年**
1月 地域創造大賞(総務大臣賞)受賞に貢献
12月 NPO法人設立
- 2012(平成24)年**
11月 第25回長崎県地域文化章受賞
- 2013(平成25)年**
8月 ミュージックキャンプ初開催
9月～ 県教職員互助組合スクールコンサート初開催
- 2014(平成26)年**
8月～ 市民ミュージカル『赤い花の記憶 天主堂物語』大村・南島原・天草公演で演奏
9月 認定NPO法人移行
大村スクールコンサート初開催
11月 平成26年度長崎県県民表彰
- 2015(平成27)年**
5月 東京公演(紀尾井ホール)開催(松原勝也・迫昭嘉)
7月 オペラ『いのち』東京公演
11月 第2回JASRAC文化賞受賞
- 2016(平成28)年**
7月 新事務所移転
- 2018(平成30)年**
1月 名称を「長崎OMURA室内合奏団」に変更

★公演数1,068、観客数174,809名(平成15年から29年までの累計)

Information

5月定期演奏会関連イベント



ロビーコンサート

演奏会開演前に各会場ロビーにて開催
長崎(長崎市民会館・文化ホール):18日(金)18時35分頃開始
大村(シーハットおおむら・さくらホール):19日(土)13時35分頃開始
ドヴォルザーク/弦楽五重奏曲第2番ト長調Op.77

出演:中西弾・松本さくら(ヴァイオリン)、森下香蘭(ヴィオラ)、
田辺清士(チェロ)、亀子政孝(コントラバス)



プレトーク

開演後、ホールにて開催
村嶋寿深子芸術監督と団員



花田朋子(オーボエ)

茶話会

日時 5月19日(土)大村公演のみ
場所 大村市中央公民館 花しょうぶ
参加費 500円

参加団員

中西弾、森下香蘭、花田朋子、桐谷美貴子、種口敬明



私と長崎OMURA室内合奏団

vol.18

公演毎に、心に流れる感謝の涙

オーケストラに入団し早8年。私は6歳でヴァイオリンを始めたが、遊びや悪戯に明け暮れ、将来は空手の師匠になるつもりだった。

10代では男子とよく喧嘩をし、机がドミノ倒しに倒れた。中学ではサッカーゴールの耐久性を確かめようと1人1人ぶら下がっていき、私がぶら下がった所でゴールがポキッと折れ校長室に呼ばれた。14才でヴァイオリンを止め声楽へ転向。男気質の私には合わないかと6年で止めた。オートバイ、空手をやり始めた頃、ヴァイオリンをまたやりたくなり、再開した。友人達がお嫁に行ってしまった30歳で留学を決意。正気を失ったか!と、親は猛反対。

35歳で卒業にこぎつけたものの、永遠に学生をしておいて、オーストリアにしがみついていたが、お金が底を突き帰国。いつの間にか村嶋芸術監督が大村に合奏団を作って下さっていた。まさか40歳を過ぎてこ

んな素敵なオーケストラの中で、しかもヨーロッパの音楽が体から溢れている松原勝也先生のご指導を頂けるなんて!!

イタリア、プラハ、スコットランド、と演奏される数々の大曲や交響曲、小品。入団したばかりの頃はついていくのに必死で猛練習した。2年前の東京紀尾井ホールでの公演では緊張と恐ろしさで息が吸えず窒息死する寸前だった。

しかし大らかに、自由に団員1人1人の緊張を解きほぐす様に、優しく演奏の指導を展開される松原先生は私達の魔法使い。奏でられる1曲1曲へ謙虚に向ける団員1人1人の真っ直ぐな心と響き。私は、人生では味わった事のない有難い勿体ない、の感謝の涙が公演毎に、私の心で流れる。



えみこ
クルビタ恵美子(ヴァイオリン)

♪ 音楽と私

また、あの熱い季節がやって来る。今年こそ「長崎と草津地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界文化遺産に、という期待が高まるなか、これを支援する大村発の市民ミュージカル、いや、県民ミュージカル『赤い花の記憶 天主堂物語』（小川内清孝作）の開演が、7月21日（土）に迫っているからだ。

一昨年も、その前年も長崎ブリックホールで多くの観客を集め喝采を浴びた当演目。その大きな特色のひとつに、長崎OMURA室内合奏団（NOCE）の生演奏がある。こうした贅沢な企画に接することができるのは、観客はもちろんのこと出演者にとっても得難いチャンスである。かく言う私も、村嶋寿深子芸術監督の推薦によって4年前の大村初演から、大浦天主堂を造った大工の棟梁役をやらせて頂いている。

NOCEの精度の高い演奏は、このミュージカルを進行さ

せるうえで欠かせない原動力であり、ハイライトシーンを確実に盛り上げるディヴァイスとなっている。当日は「ザビエルの手紙」から「赤い花」まで24の楽曲が奏でられ、出演者の歌声、踊り、芝居をそれぞれ見事に調和させてくれる。なお、個人的には、思わず体が動き出す「かすていらに夢中」や、悲壮感漂う「浦上四番崩れ」の演奏は圧巻だと思う。とにかく、この機会を逃すことなく、多くの県民にブリックホールまで足を運んで欲しいと願っている。



てらい じゅんいち

寺井 順一

（作家 長崎ウエスレヤン大学講師）

mi Chiamo

ミ・キアーモ

3つの質問で
メンバーを知ろう!

- ① 自己紹介をご自由にどうぞ!
- ② ひそかなマイブーム
- ③ 最後の一言

※ミ・キアーモとは、イタリア語で「私の名前は、○○○」の意。



ヴァイオリン
まつら ちか
松浦 知佳

① 皆様こんにちは。ヴァイオリンを演奏します、派手なものと食べる事が大好きな松浦知佳です！演奏している時の顔が怖いとよく言われますが、自分ではよく分かりません(〜;)

② お店が（近くは）あまりない所に住むようになったので…ネットショッピング!

③ これからも良い音楽をお届け出来るよう、食べ過ぎ注意で練習頑張ります♪応援宜しくお願いします!



チェロ
はらくち あずさ
原口 梓

① チェロの原口梓です。東京在住。親が大村出身。今は祖母が市内に住んでいます。普段は東京でスタジオミュージシャンやっています。

② ゴルフとオーガニックワイン

③ これからも合奏団を可愛がってくださーい!

ご支援ありがとうございます（4月20日現在）法人会員数 63件（-3件）NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。
個人会員数 178人（+6人）周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお誘い下さい。

編集
後記

百花繚乱、我が家のハナミズキも優しく咲いてくれました。もうすぐ定期演奏会、シェレンベルガーさん、松原先生編曲のブラームスもとても楽しみです♪（ちほ）

新年度スタート! 姪っ子の入園でメロメロの春でした。合奏団も15周年! たくさんの方々には様々な場所で演奏を聴いて頂けるよう頑張ります♪（いけっち）

1月に始めた自炊、手抜きを覚えてどうにか継続できています(#^_^#)この調子で頑張るぞ〜（えりな）